

救助隊 第130回雪山搬出訓練報告

作成者：豊中芳山 岡林 絵里香

2019年1月27日（日）：イン谷上の駐車場、堂満岳第1ルンゼ下部

救助隊運営（7名）：松本救助隊長、山下、岡林、嵯峨山、松芳、水川、七野、

救助隊員（8名）：滝上、松本（雅）、柳川、佐藤、大見、土田、中川、木村

一般（12名）：梶原、戸田、三宅、山下、河内、富永、斎藤、管、岩城、新家、三木

7：00 イン谷上の駐車場集合 救助隊運営による梱包と搬送のデモンストレーション

7：50 2班に分かれ梱包練習各2回

9：45 堂満岳第1ルンゼ下部へ出発

11：00～12：30 堂満岳第1ルンゼ下部にて梱包し、斜面での引き下ろしと
高所からチロリアンブリッジによる引き下ろし搬出

13：30 イン谷上駐車場集合解散

●雪山での要救助者の梱包と搬送訓練



イン谷上の駐車場にて、要救助者のツェルトを使っての梱包と搬送の訓練を2班に分かれて実施しました。

要救助者を包んだツェルトを前に重ね、肩、腰、膝の左右横の方を直径5センチくらいの雪玉を芯にしてスリングでクローブヒッチにして固定していった。

今まで、カラビナを芯にしていたが、雪玉だと道具もいらないので手軽にできると好評だった。保温にプラティパスにお湯をいれた湯たんぽを今回も使用した。

●斜面での引き下ろし

堂満岳第1ルンゼに移動し、全体で要救助者をツェルト梱包し、先方のロープで引き下ろし、スノーバーで支点を作り、後方のロープで確保しながら、引き下ろした。バランスを維持する為に、左右にスリングを付け人を配置する。

●高所でのチロリアンブリッジによる搬送

高所で上部と下部に木を支点としてロープを張り、チロリアンブリッジによる要救助者の搬送を行った。

まとめ：今回、梱包するのにツェルトを固定する芯をカラビナに替って雪玉にしたことで、道具が無くてもツェルト梱包ができたことは大きかった。だが、比良の固まりやすい雪だったので雪玉になったが、サラサラのパウダースノーの場合はどうなるのかと思いました。

反省点：引き下ろしの時に各自の役割を先に決めておけば良かった。多少、もたついた感があった。

反省会で全員に簡単に言ってもらってから、あとでメールを貰えばよかった。個々がどのように思ったかを全員で共有することが大切だと思いました。

